

| | | | |
|--|--|-------------|---------------------------------|
| 授業科目名： 教科（音楽） | 教員の免許状取得のための 必修科目 | 単位数： 2単位 | さかたえいこ 担当教員名：坂田映子 担当形態 単独 |
| 実務内容 （実務家教員の場合） | 小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、音楽科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。 | | |
| 科 目 | 教科及び教科の指導法に関する科目（小学校） 領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園） | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項 「音楽」（小学校） 領域に関する専門的事項 「音楽」（幼稚園） | | |
| 「学位授与の方針」との関係 音楽科教育の全体について、様々な視点からの理解を深め、教師として共感理解教育の理念を認識し、積極的に実践していくことができる。 | | | |
| 授業の到達目標及びテーマ 1 教育における音楽の役割、意義について理解する。 2 音楽理論を理解し、教材の楽曲分析の仕方、伴奏付けについて身に付ける。 3 歌唱発声法、音楽づくりの方法、楽器の演奏の仕方について理解する。 4 我が国の伝統音楽や諸外国の音楽を鑑賞し、音楽的特徴について理解する。 | | | |
| 授業の概要 本授業では、音楽を指導するうえで必要な音楽の役割・意義及び教材等について学修し、音楽の基礎を身に付ける。具体的には、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の指導のもとになる理論を修得し、実践的指導に資するようにする。。 | | | |
| 授業計画 第1回：教育における音楽の役割、意義、音楽教育史についての理解。 第2回：楽典理論、音符、休符、音楽記号、音楽構造についての理解。 第3回：簡易なコード理論の理解。 第4回：曲のコード伴奏の理解。 第5回：「歌唱」のラーニングプロセスの理解。 第6回：「共通教材」の教材分析の理解。 第7回：「器楽」リズム楽器の扱い方と演奏の仕方の理解。 第8回：リコーダーのラーニングプロセスの理解。 第9回：器楽アンサンブルの演奏聴取と理解。 第10回：「歌唱・音楽づくり」の身体表現等の表現方法の理解。 第11回：「音楽づくり」の即興表現とICT活用の理解。 第12回：手作り楽器による、曲に合わせた即興演奏の演習。 第13回：「鑑賞」教材の視聴、音楽的特徴の理解。 第14回：日本の伝統音楽・諸外国の音楽の鑑賞、その音楽的特徴についての理解。 第15回：学習指導要領における学習評価の理解。 定期試験 科目修得試験 | | | |

スクーリングでの学修内容

スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

- (1) 初等科音楽研究会編 音楽之友社『改訂版 最新初等科音楽科教育法 2017年告示
「小学校学習指導要領」準拠』
- (2) 『小学校学習指導要領解説 音楽編』

参考文献

- (1) 鑑賞 CD 『音楽のおくりもの』教育出版株式会社

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。